



きらり四季彩 阿賀野川

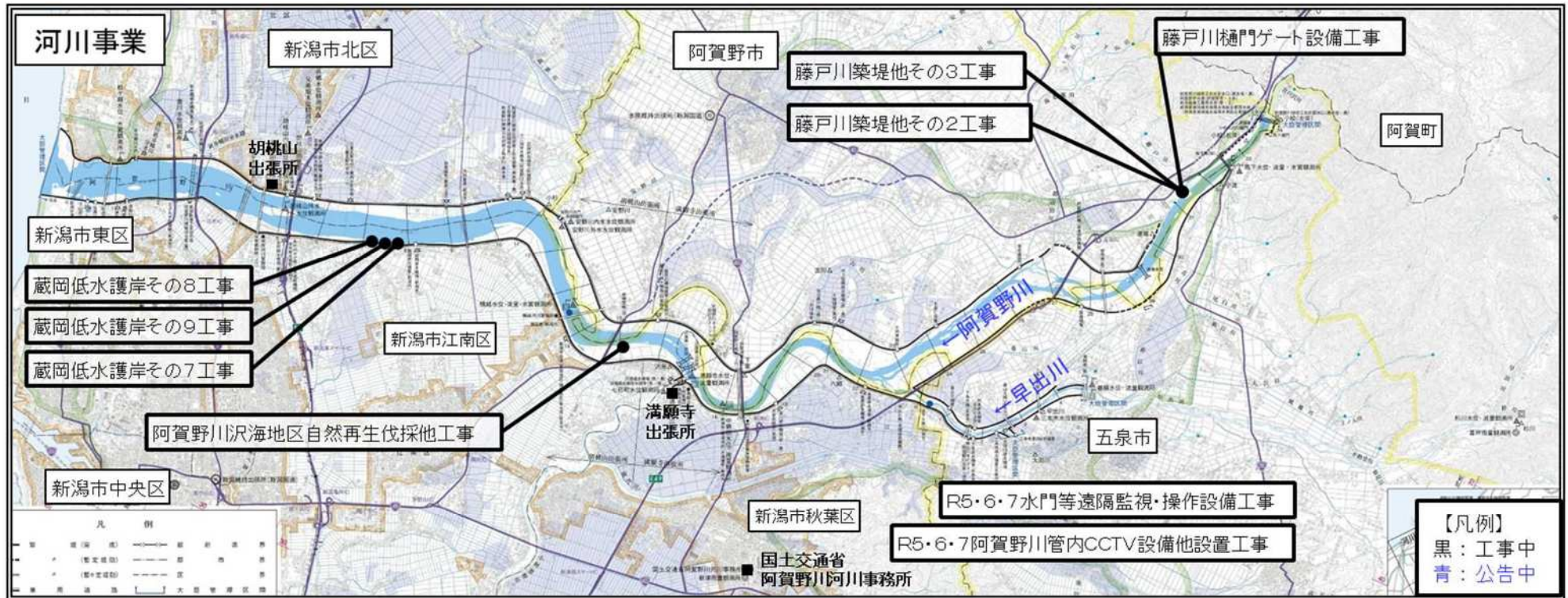
国土交通省北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

資料 5

阿賀野川河川事務所の 令和6年度の主な事業について

国土交通省 北陸地方整備局
阿賀野川河川事務所

令和6年度 阿賀野川河川事務所の事業概要



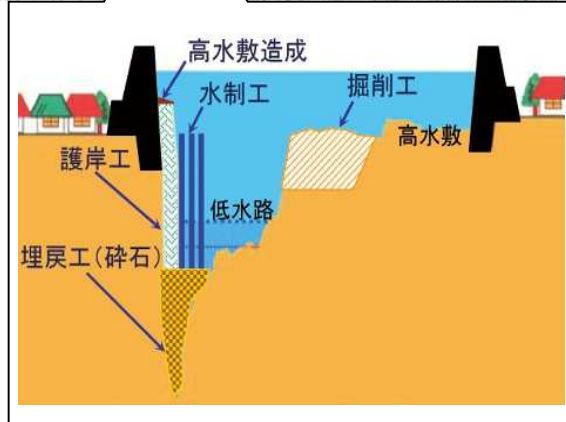
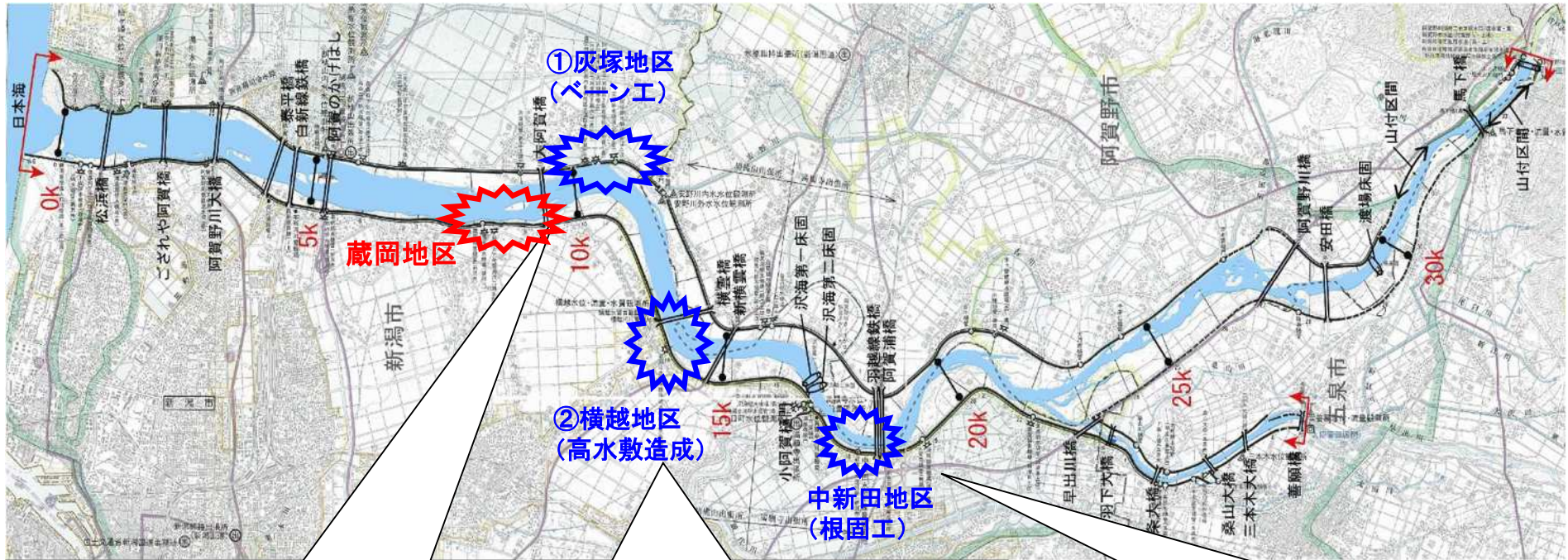
- 上記図中の工事以外
- R6 阿賀野川維持管理工事
- R6 阿賀野川堤防管理作業
- 令和6年度阿賀野川河川事務所電気通信施設保守業務
- 令和6年度水閘門等点検整備業務
- 令和6年度排水機場点検整備業務

ここに記載する内容は、現在の予定であるため、この記載と異なる、または記載されない工事が発注される場合があります。

水衝部対策

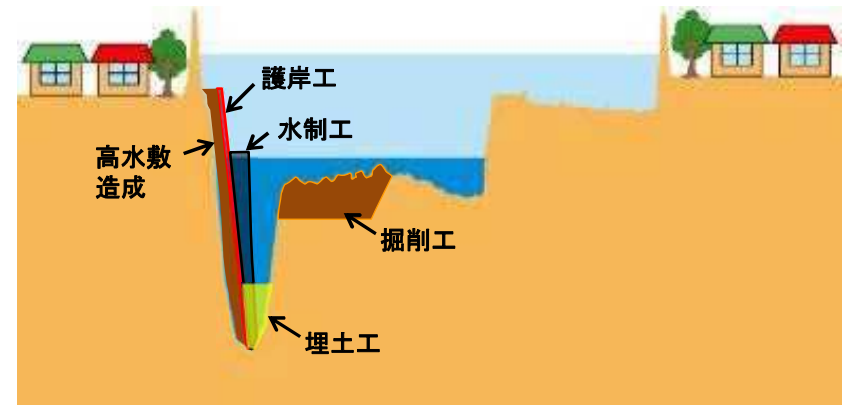
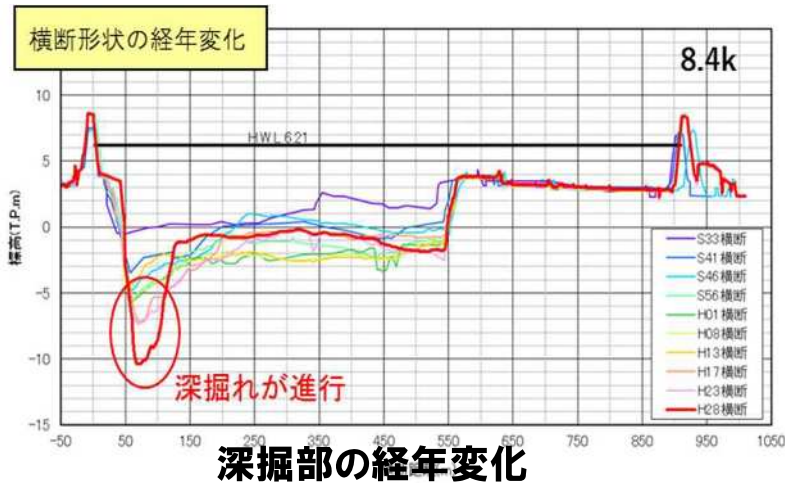
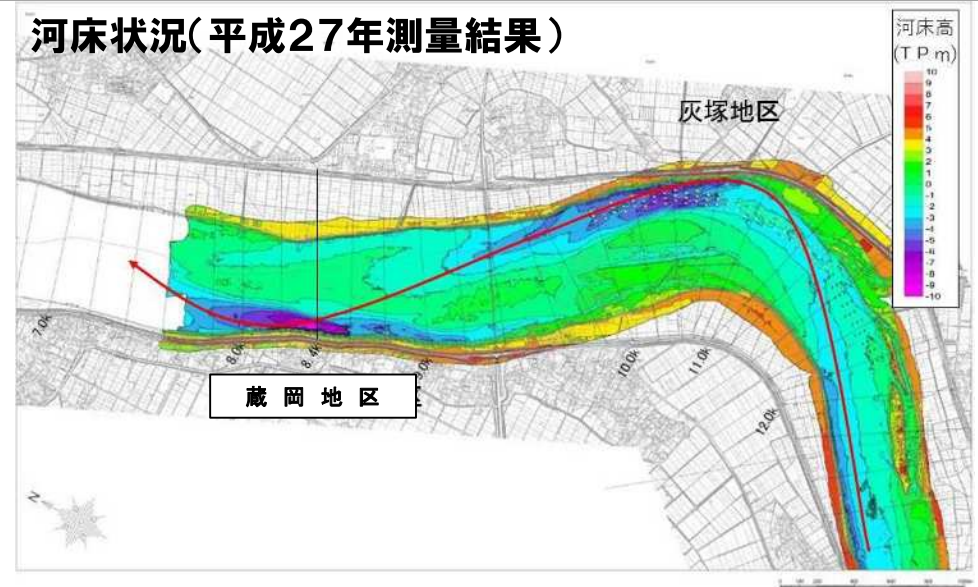
- 阿賀野川中流部は蛇行区間となっており、古くから灰塚地区（10.0k～11.0k付近）、横越地区（13.0k～14.0k付近）、中新田地区（18.0k付近）を三大水衝部と位置づけ、対策工を実施
- 灰塚地区ではベン工、横越地区では水制工、中新田地区では根固工（暫定）を実施

三大水衝部位置図



蔵岡地区水衝部対策

- 灰塚地区下流左岸側の江南区蔵岡地区では、H23.7出水後に3次元サイドスキャンソナーによる水中部の測量を実施した結果、左岸7.8k～8.6kで部分的に深掘れの進行を確認
- 氾濫域には政令都市である新潟市を抱えるため、破堤による被害は甚大
- 平成27年度補正予算より工事着手し、高水敷造成と護岸整備を実施中。あわせて、R2年度に河道掘削(河床整正)を実施。
- 経過観察を行いつつ、必要に応じて水制工設置などの流向是正対策の実施を検討する



羽越本線洪水防止連携整備事業

- 阿賀野川下流部の阿賀野市下里（さがり）地先は、JR羽越本線阿賀野川橋梁（大正元年完成）の橋桁の高さが低いことから、現況堤防高が計画堤防高に対して約1.8m不足しており、流下能力のボトルネックとなっている。
- 阿賀野川下流部の流下能力向上対策として、JR東日本と連携した「羽越本線洪水防止連携整備事業」において、平成27年度より河道掘削及び橋脚保護を行うとともに、令和3年度に橋梁の部分架替を行った上で堤防の高さを確保する特殊堤の整備等が完了し、事業が概成。



【事業内容】

- 河道掘削(約24万m³)
- 橋梁の部分架替、特殊堤、堤防拡幅、堤防護岸等



【事業効果】

- 河道掘削により、河川整備計画の目標流量（馬下地点11, 200m³/s）を安全に流下
- JR橋梁の部分架替、特殊堤の整備により、整備前より約1.6m高い堤防高を確保
⇒ 氾濫危険水位や避難判断水位を現在より高い水位に見直すことにより、氾濫危険水位の超過回数が4割減少し、避難判断水位は5割減少するとともに、水防活動も大幅に削減

【新しい基準水位】R5年度以降

観測所名	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位 (特別警戒水位)	氾濫する可能性のある水位	計画高水位
馬下	19.65 m	20.15 m	22.00 m	22.80 m	24.48 m	24.40 m
満願寺	5.80 m	6.50 m	8.20 m	9.00 m	9.82 m	10.02 m
善願	12.80 m	14.00 m	14.50 m	15.10 m	16.24 m	16.13 m

※「満願寺(右岸)」と「満願寺(左岸)」を「満願寺」に統一。「馬下」と「善願」は変更なし。



橋梁部分架替・特殊堤の整備状況

令和5年度 阿賀野川重要水防箇所及び水防倉庫巡視 開催概要

■阿賀野川沿川の自治体等で構成する阿賀野川水防連絡会では、関係機関との情報共有を目的に、阿賀野川の洪水時に危険が予想される箇所や水防倉庫等を関係機関合同で現地確認を行い、出水に備えました。

■開催概要

実施日：令和5年6月8日（木）

参加機関：新潟県、新潟市、阿賀野市、五泉市、新潟市 各消防団・消防署、阿賀野市 消防本部、五泉市 消防本部
東北電力(株) 会津若松支社、東日本旅客鉄道(株)新潟支社、阿賀野川河川事務所

■巡視箇所 ※(●)はランクを指す

○胡桃山出張所管内

- ・横雲橋（桁B、径）
- ・江南区小杉（堤A、基A）
- ・本所緊急資材備蓄倉庫
- ・泰平橋（桁B、径）
- ・松浜橋（桁B、径）
- ・東区松浜町（越A、水・洗A、堤B）
- ・北区濁川（堤A）
- ・北区高森（越B）
- ・北区小杉（堤B、基B）
- ・阿賀野市法柳（堤A、基A、越B）
- ・阿賀野市深掘（堤B）

○満願寺出張所管内

- ・阿賀野市下里（越B）
- ・羽越本線鉄橋（桁B、径）
- ・阿賀野市千唐仁（基A）
- ・阿賀野市小浮（基A）
- ・阿賀野市小松（越A、越B）
- ・五泉市小流（基A）
- ・五泉市渡場（堤A、基B）
- ・五泉市三本木（堤B）
- ・羽下大橋（桁A、径）
- ・秋葉区金屋（堤A）
- ・秋葉区中新田（水・洗A、越B、堤B、基B）
- ・中新田災害対策機械等格納庫

※ 凡例 越：越水 堤：堤体漏水 基：基盤漏水
水・洗：水衝・洗掘 桁：桁下高不足 径：径間長不足

●重要水防箇所とは・・・

洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所をいい「重要水防箇所」には、

- A：水防上最も重要な区間
- B：水防上重要な区間
- 要注意区間

の3ランクがあり、堤防の高さや洪水流下のための断面、堤防からの漏水等の観点から指定されます。

■巡視の様子



阿賀野市法柳



阿賀野市小松



新潟市東区松浜町



阿賀野市下里（羽越本線鉄橋）



本所緊急資材備蓄倉庫



中新田災害対策機械等格納庫

水害リスクラインによる水位情報の提供(市町村向け)

「水害リスクライン」は、概ね200m毎の水位の計算結果と堤防高との比較により、左右岸別に上流から下流まで連続的に洪水の危険度を5段階に色分けして表示することが可能なシステムとなっており、より身近な箇所危険度を把握することができます。

さらに、市町村向けサービスでは6時間先までの水位予測が確認可能となっています。

水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示



・市町村向けサービスでは、6時間先までの予測水位を確認可能。

・主要地点のリアルタイム映像(河川監視カメラ)を確認できる。

・左右岸それぞれ200m毎に、現在の水位(5段階評価)を確認可能。

※市町村向けURL、ID、パスワードが不明の場合はお問い合わせください。

水害リスクライン(一般向け) ※水位予測表示なし

URL : <https://frl.river.go.jp/>



阿賀野川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～会津から越後まで流域一体となった被害軽減に向けた治水対策の推進～



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 洪水氾濫対策

- 羽越本線洪水防止連携整備事業（阿賀野川河川事務所）
- 排水樋管における無動力化改修工事（阿賀川河川事務所）

事業後 事業前 施工例

鉄道橋と堤防との交差点において計画上の堤防高さが不足し、堤防から越流する危険性が最も高い箇所となっているため、危険面所の解消に向けJR東日本と連携して整備事業を実施。

操作員の担い手不足の解消や異常洪水時における操作員の安全確保、負担軽減を目的に、樋管ゲートの無動力化（フラップゲート化）を推進。

■ 流域の雨水貯留機能の向上

- 田んぼダム（取組面積の拡大と適切な管理の実施）（新潟市）
- 公共施設における雨水貯留・浸透施設の整備（会津若松市）

貯留量を増やすため、田んぼから雨水流出量を減らすための調節板と田んぼの畔の整備を実施。また、関係部局、農地関係者が連携し取組面積の拡大に向けた普及・啓発と整備済みの田んぼダムの適切な管理を行う。

庁舎、公民館、市営住宅等の公共施設を新設する場合、雨水貯留施設などの整備を行う。

被害対象を減少させるための対策

■ 立地適正化計画の検討等

- 立地適正化計画の策定及び見直し等検討（会津若松市・新潟市・阿賀野市・五泉市）

気候変動の影響により頻発・激甚化する自然災害に対し、災害ハザード情報と都市情報を重ね合わせるなどきめ細やかな災害リスクの分析・都市防災上の課題を抽出を行い、災害に強いまちづくりに向け方策の検討を行う。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

■ 防災意識の醸成・向上

- 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進（新潟県）
- 防災リーダー養成講座の開催（五泉市）

施設管理者を対象として、避難確保計画の作成方法を身につけてもらうための講習会を開催。

災害時に地域のためにリーダーとして活躍する人材を育成するため、町内会や自主防災組織等の代表者を対象に「五泉市防災リーダー養成講座」を開催。

■ 避難体制等の強化等

- 「まるごとまちごとハザードマップ」活動にて浸水深の掲示による防災啓発（阿賀野市）
- 避難時に浸水が生じるケースを想定した垂直避難訓練の実施（会津若松市）

氾濫した場合に想定される浸水深（最大浸水深）を記載した看板を電柱に取付・掲示を実施。

水害時における適切な避難行動の大切さを周知・啓発することを目的に、沿川の小学校を対象に垂直避難訓練を実施。